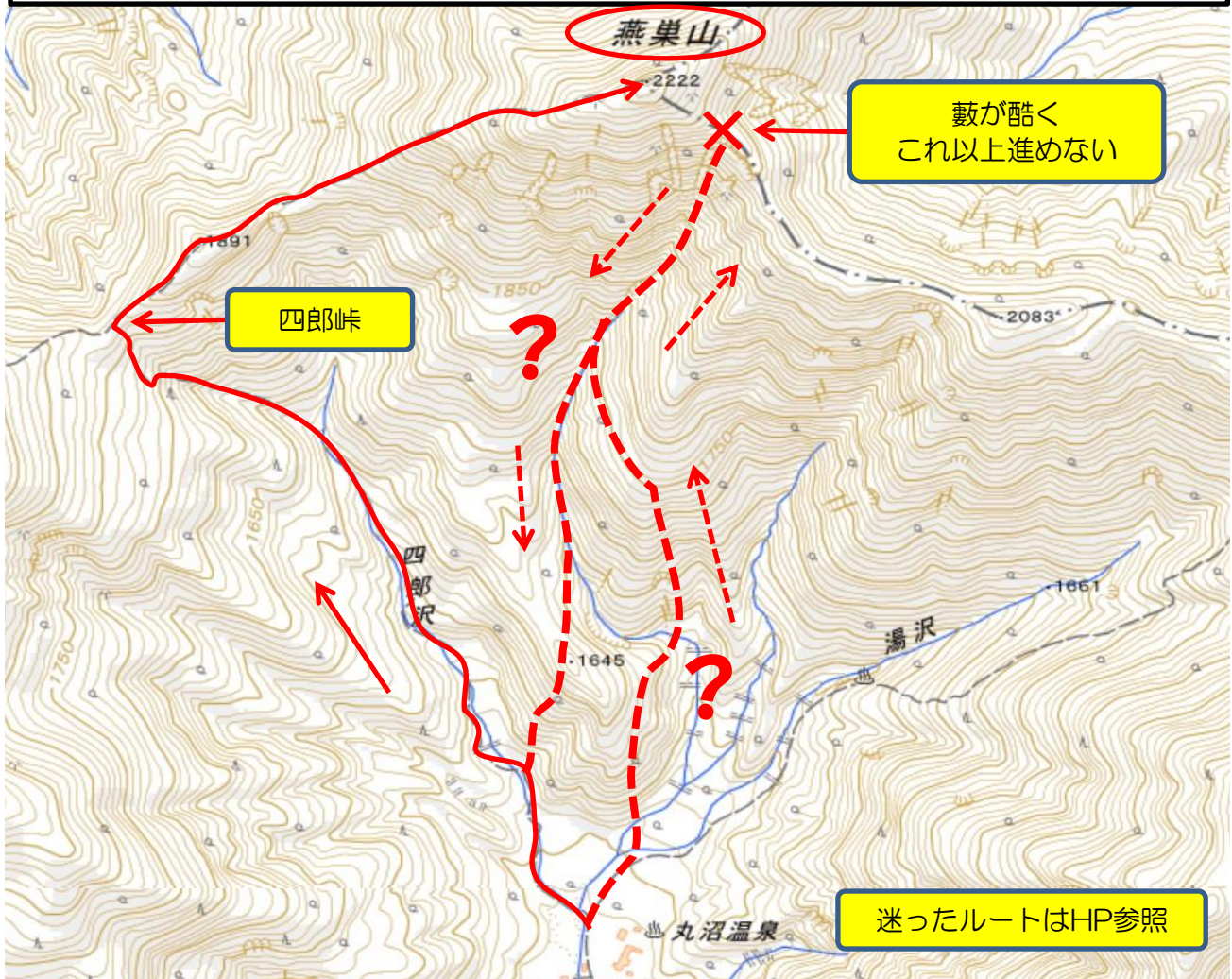


燕巢山道迷い(2022年6月)

単独。登山口を間違えて獣道を登る。山頂手前で藪が酷く進めないため、山頂を諦め獣道を下った。



解説

登山口を間違えて、湯沢峠方面に登りだし、途中から、獣道に迷い込み、燕巢山を直登に近いルートで登ることになる。獣道であるから、狭い絶壁も篠竹につかまりながら何か所か通過した。倒木の下も何度もくぐった。とにかく、頂上をめざして藪をこいだ。ところが、頂上直下まで登ると、しらびその大きな倒木と立木にはばまれて、前進不可能になってしまった。

午前11時。疲れたのでゆっくり休憩して、いざ、下山する段になり、その踏み跡をよく見たら、割れた爪が2本、はっきりと残っている。ここで、やっと、道迷いに気が付く。

下りも急斜面と篠竹の藪である。慎重に、下る斜面を見定めながら、あせらずに、休憩を取って、呼吸を整えて下る。脚は擦り傷でズボンは幾分、血で染まっている。(中略)

【道迷いしないために】

④地図は、持参したが、高度計がないので、現在地の把握ができなかった。(スマホなし)(HP参照)

道迷いに気づくのがここまで遅い事例は稀である。通常の道迷いは「あれっ？おかしい？」とどこかで気づくはずだが…。地図は持参されているが、そもそも「地図の先読み」を最初からしていないのでコメントのしようがない。とにかく上上に進めば山頂はあるが、急斜面では滑落の危険も伴う。